2025年度 北陸大学一般選抜(本学独自方式)A日程問題

(2月5日実施)

日 本 史

(注 意)

1. 問題冊子は本文6ページ、問題Ⅰ～Ⅲ、解答数24。
2. 解答用紙はマークシート1枚、解答は各解答欄に、当てはまる
選択肢の枠内をぬりつぶすこと(複数解答は無効)。
3. 解答用マークシートは、持ち帰ってはならない。
4. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
5. コピー及び二次利用は行わないこと。

【I】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1428年、近江坂本の馬借が徳政を要求したのをきっかけに、京都近辺の庶民が蜂起して、酒屋・土倉寺院をおそい、売買・貸借証文を焼き捨てた。この（ i ）の土一揆は、やがて大和・河内・播磨へと波及したが、1429年の（ ii ）の土一揆は、守護の軍勢を国外に退去させようとするまでになった。

さらに1441年におきた（ iii ）の土一揆は最も大規模なもので、数万に及ぶ一揆勢が連携をとりつつ、京都の出入口をことごとく封鎖して徳政令を要求し、酒屋・土倉をおそい、幕府もやむなく徳政令を發布した。この徳政要求は、高利貸資本に苦しめられた庶民の願いとなって各地でわきあがり、幕府とは別に、各地の寺社領や荘園村落で私的な徳政令が出された。

このような中で、将軍になった^ア足利義教は、将軍権力の強化をめざして「万人恐怖の政治」とよばれる専制的な支配をおこなった。義教への反感が強いのをみて、かねてから将軍の地位をねらっていた（ A ）の足利持氏は、1438年に反乱をおこしたが、上杉憲実が幕府側についたため、翌年に敗れて自殺した。しかし、1441年に義教は、義政の強硬策に反感をもつ播磨の守護（ B ）の館で謀殺され、彼は領国の播磨へ下ったが、まもなく幕府勢に滅ぼされた。

幕府の混迷はさらに深まった。当時、斯波・畠山の両管領家は相続争いにゆれていたが、これに（ C ）代将軍義政の継嗣問題が絡んで、やがて^イ応仁の乱にまで発展していった。この乱によって幕府の権威がすっかり衰えると、大名たちは領国へ下っていった。大名たちが留守の間に領国では農民や国人の一揆が活発になって、その対策が緊急の課題となっていた。このように応仁の乱は、さまざまな方面に影響を及ぼし、^ウ戦国時代の先がけをなした。

応仁の乱を契機にして、全国のいたるところで下剋上の風潮が強まった。幕府のひざもとの山城でも、1485年に南山城の国人や土民が集会を開き、この地を戦場にして戦っていた守護の両畠山氏に国外退去を求め、自治的な組織をつくってこの地を支配した。また北陸地方では^エ加賀の一向一揆がおこった。

問1 （ i ）・（ ii ）・（ iii ）に共通してあてはまる語句の適切な組み合わせを、

下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄1）

1. 嘉吉・播磨・正長
2. 播磨・嘉吉・正長
3. 正長・播磨・嘉吉

問2 下線部アについて、足利義教がおこなったこととして適切なことを、下の選択肢から

1つ選びなさい。

（マークシート解答欄2）

1. キリスト教を認めた。
2. 勘合貿易を再開した。
3. 南北朝を合一した。
4. 朝鮮に出兵した。

問3 (A) にあてはまる役職名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄3)

1. 関東管領 2. 檢非違使 3. 九州探題 4. 鎌倉公方

問4 (B) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄4)

1. 赤松満祐 2. 北畠親房 3. 大内義弘 4. 楠木正成

問5 (C) にあてはまる数字を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄5)

1. 3 2. 5 3. 8 4. 11

問6 下線部イについて、下の4つの文は応仁の乱に関する説明文である。説明として適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄6)

1. 京都を主戦場として、約1世紀も続いた。
2. 義政の子の義視は、細川勝元と結んだ。
3. 日野富子と弟の義尚は、山名宗全と結んだ。
4. 主戦場は、足軽の乱暴もあり焼け野原となった。

問7 下線部ウについて、戦国大名にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄7)

1. 斎藤道三 2. 北条高時 3. 新田義貞 4. 三浦泰村

問8 下線部エについて、下の4つの文は加賀の一向一揆に関する説明文である。説明として不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄8)

1. 富樫政親と対立し、ついに政親を倒した。
2. 浄土真宗の門徒の増大が力となった。
3. 約8年にわたって、門徒衆らの政治が続いた。
4. 一揆以後、「百姓の持ちたる国」と言われた。

【II】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

米騒動で寺内正毅内閣が倒れた後、元老・山形有朋らは、政党内閣を認めざるを得なくなり、後継首相に立憲政友会（政友会）首相の原敬をおした。原内閣は、1918年9月、本格的な政党内閣として出発した。原は小さいときに士族を離脱し、また藩閥や華族出身でもなかったので、「平民宰相」とよばれ、国民の多くから歓迎された。

原首相は、衆議院で絶対多数を占める政友会の積極政策に基づき、（A）の拡張・産業と通商貿易の奨励・教育施設の改善拡充・国防の充実などを推し進めた。しかし一方では、憲政会や立憲国民党などの野党が要求する普通選挙法案を時期尚早であるとしてしりぞけ、（B）制を導入し、選挙権の納税資格を従来よりも引き下げて、有権者を拡充したにとどまった。この間、原首相は、貴族院に働きかけ、政友会への支持をとりつけたが、政友会の関係する汚職事件が続いて世論の反発をかい、また戦後恐慌によって財政的にも行きづまった。こうしたなかで、1921年、原は政党政治の腐敗に憤慨した一青年によって東京駅で刺殺された。

原敬を継いで内閣を組織したのは高橋是清であった。しかし、党の内紛で短命に終わった。その後、（C）のなかで第2次山本権兵衛内閣が成立し、次いで1924年、枢密院議長の清浦奎吾が貴族院議員を中心に内閣を組織し、三たび非政党内閣が生まれた。そのため、3つの政党は連合して、清浦内閣に反対し、政党内閣制と普通選挙の実現を主張して憲政擁護運動を起こした。政府は、政友会脱党者の組織した党の支持を得て総選挙に臨んだが、護憲三派が勝利し、絶対多数を占めた。この結果、衆議院第一党の（i）総裁である加藤高明が三党の連立内閣を組織した。内閣には（ii）総裁の高橋是清・（iii）の犬養毅が入閣し、護憲三派内閣とよばれた。以後、1932年に犬養内閣が倒れるまでのあいだ、衆議院の多数党の総裁を首相とする政党内閣の慣行が続いたが、これを憲政の常道という。

平等な選挙権を要求する普選運動は、社会運動家・政党の議員などを中心に明治中期から進められ、大正期になると、民本主義者を先頭に広く国民に支持される運動に成長していた。そして、普通選挙法（衆議院議員選挙法改正）は、議会の内外で議論的になった。加藤高明内閣は、1925年に普通選挙法案を議会に提出し通過させた。同時に政府は、同じ議会で治安維持法を成立させたが、この法律は、後におこるアジア・太平洋戦争を迎えるなかで、きびしさを増した。

問1 （A）にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄9）

1. 植民地 2. 航路 3. 市町村 4. 鉄道

問2 （B）にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄10）

1. 小選挙区 2. 中選挙区 3. 大選挙区 4. 比例代表

問3 (C) にあてはまる出来事を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 11)

1. 大逆事件 2. シベリア出兵 3. 関東大震災 4. 米騒動

問4 (i)・(ii)・(iii) にあてはまる政党名の適切な組み合わせを、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 12)

1. 政友会・革新倶楽部・憲政会 2. 革新倶楽部・憲政会・政友本党
3. 政友本党・憲政会・革新倶楽部 4. 憲政会・政友会・革新倶楽部

問5 下線部アについて、犬養毅首相が暗殺された出来事を何というか。下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 13)

1. 二・二六事件 2. 三・一五事件 3. 四・一六事件 4. 五・一五事件

問6 下線部イについて、民本主義を唱えた著名な人物は誰か。下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 14)

1. 美濃部達吉 2. 石橋湛山 3. 川上肇 4. 吉野作造

問7 下線部ウについて、下の4つの文は選挙権獲得の流れに関する説明文である。説明として適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 15)

1. 黒田清隆内閣のもとで、男子 30 歳以上で直接国税 15 円以上を納めるもの。
2. 山形有朋内閣のもとで、男子 25 歳以上で直接国税 10 円以上を納めるもの。
3. 原敬内閣のもとで、男子 20 歳以上で直接国税 3 円以上を納めるもの。
4. 幣原喜重郎内閣のもとで、男女 20 歳以上で直接国税を 1 円以上納めるもの。

問8 下線部エについて、治安維持法に関する説明として適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 16)

1. 「国体」の変革をめざすために政党を組織することを支えることが目的である。
2. 私有財産制度をめざすために結社を組織することを抑えることが目的である。
3. 普通選挙によって予想される無産階級の政治的進出を抑えることが目的である。
4. 天皇の神格化をめざすために軍部の政治的進出を支えることが目的である。

【Ⅲ】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

昭和初期の日本は、深刻な不況下にあった。街には失業者があふれ、退廃的な風潮が広がっていた。こうした中で、マルクス主義思想への関心が高まり、労働運動や農民運動の中から社会主義勢力が政治的に進出するとともに、その一方で、思想を統制し、(i) に侵略する軍国主義化の機運も強まってきた。昭和は、経済の不況や治安対策・思想統制の強まり、山東出兵などによって幕を開けたのである。

関東大震災以後、銀行では震災手形の処理が進まず、経営の悪化が問題になっていた。1927年3月、議会で銀行の不良経営が問題になり、取りつけ騒ぎが起きて銀行の休業が続出した。同年4月には、台湾銀行が、多額の融資をしていた(A) の破産の影響をうけて経営危機に陥り、金融界の混乱はさらに深刻になった。これを金融恐慌という。若槻礼次郎内閣は、緊急勅令で台湾銀行を救済しようとしたが、枢密院の了承を得られず、総辞職に追い込まれた。代わって登場した田中義一内閣は、(B) を発し、日本銀行に巨額の非常貸し出しをさせて、金融恐慌をようやくしずめた。

金融恐慌は、中小企業に衝撃を与え、政府の銀行合併策もあり、五大銀行が金融界での地位を確立した。また多くの産業分野で、企業の集中の動きが強まった。一方、貿易の輸入超過は大きくなり、外国為替相場は動揺と下落を繰り返した。田中内閣のあとをうけた浜口雄幸内閣の蔵相(C) は、緊縮財政によって物価を引き下げ、産業の合理化を進めて国際競争力を強めようとした。そのため、1930年1月には金本位制を復活し、1917年以来の金輸出禁止を解いた。

これより先、1929年10月にアメリカに発生した恐慌は世界恐慌へと拡大し、1930年春には日本にも影響が及んだ。そのため、アメリカ・イギリス・東南アジアに向けた生糸や綿製品などの輸出が激減し、貿易収支は赤字になる一方で、金解禁によって金の流出があいついだ。(D) 内閣は、金輸出再禁止を決めたが、緊縮財政・金解禁による不況と世界恐慌の波及によって、日本経済は深刻な恐慌に見舞われた。これを^イ昭和恐慌という。昭和恐慌が深刻化する中、軍人や民間右翼のあいだでは、軍部政権をつくり、内外政策の転換をはかろうとする動きが目立つようになった。1930年11月、首相浜口雄幸が東京駅で右翼青年に狙撃された。1932年には血盟団事件がおこり、同年5月15日には五・一五事件がおこった。また、この頃、(i) では民族主義の立場から国権回復の運動が高まり、国民政府は満州(中国東北部)における日本の権益を取り戻す意向を正式に表明した。その一方で、日本の満鉄経営は、世界恐慌の影響もあり、不振に陥っていた。こうした中で、陸軍とりわけ関東軍は「満蒙」を「日本の生命線」であるとして、満州を(i) の主権から切り離し、^ウ日本の勢力下におく計画を立てた。

問1 (i) に共通してあてはまる国名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 17)

1. 中国 2. インド 3. 韓国 4. モンゴル

問2 (A) にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 18)

1. 足尾銅山 2. 八幡製鉄所 3. 昭和電工 4. 鈴木商店

問3 (B) にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 19)

1. レッド・パージ
2. マーシャル・プラン
3. モラトリアム
4. マニフェスト

問4 下線部アについて、五大銀行にあてはまらないものを、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 20)

1. 住友
2. 三菱
3. 日産
4. 三井

問5 (C) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 21)

1. 井上準之助
2. 高橋是清
3. 山本権兵衛
4. 松方正義

問6 (D) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 22)

1. 斎藤実
2. 犬養毅
3. 加藤高明
4. 清浦奎吾

問7 下線部イについて、下の4つの文は昭和恐慌について説明した文である。説明として不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 23)

1. 農村や漁村では、仕事を求めて東京や大阪に出ていった。
2. 中部地方や東北地方では、小作争議が繰り広げられた。
3. 原生糸の対米輸出の激減によって、まゆの価格が暴落した。
4. 地方によっては、欠食児童や女性の身売りが見られた。

問8 下線部ウについて、下の4つの文はこれ以後の日本の動きを説明した文である。

説明として不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 24)

1. 関東軍参謀の石原莞爾等は、柳条湖で満鉄の線路を爆破し軍事行動を起こした。
2. 若槻内閣は不拡大方針を決めたが、関東軍はこの決定を無視して満州を占領した。
3. 新聞やテレビはいっせいに関東軍を支持する報道を流し、排外熱をあおった。
4. 日本政府は満州との間に議定書をかわし、日本の権益や日本軍の駐屯を認めさせた。